

武蔵水路の防災操作（内水排除）を実施

水資源機構利根導水総合管理所が管理する武蔵水路周辺（埼玉県行田市・鴻巣市）では、台風 10 号の影響により、8 月 29 日（木）10 時から 30 日（金）14 時にかけて累計 110mm（熊谷地方気象台熊谷観測所）の降雨を記録しました。

武蔵水路では、この降雨に伴う河川及び周辺地域からの出水を 2 箇所の水門及び 6 箇所の放流口から水路内に取り込み、荒川に排水する操作（内水排除）を行いました。

内水排除の水量は累計約 160.5 万 m³ で、東京ドーム（124 万 m³）約 1.3 杯分に相当します。

今回の内水排除により、忍川の佐間水門地点で約 1.07m、元荒川の川面水門地点で約 0.33m の河川水位低減効果があったものと推定されます。



令和 6 年 9 月 5 日

独立行政法人 水資源機構
利根導水総合管理所

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、水資源記者クラブ
竹芝記者クラブ、熊谷記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 利根導水総合管理所 総務課長 菊地
住所：埼玉県行田市大字須加字船川 4 3 6 9
電話：0 4 8（5 5 7）1 5 0 1

ないすいはいじよ
武蔵水路の防災操作（内水排除）

－台風 10 号の影響に伴う出水における水位低減効果－

1. 降雨の状況

武蔵水路周辺では台風 10 号の影響により、8 月 29 日(木)10 時から 30 日(金)14 時にかけて累計での雨量が 110 mm（熊谷地方気象台熊谷観測所）を記録し、8 月 29 日（木）21 時から 22 時にかけて時間雨量が 25 mmの強い雨となりました。

2. 武蔵水路の防災操作（内水排除）

武蔵水路では、降雨による出水を 2 箇所の水門及び 6 箇所の放流口から武蔵水路内に取り込み荒川に排水する内水排除を実施しました。また、荒川上流域の降雨により荒川水位が上昇したため、武蔵水路への逆流防止のため、糠田排水樋管ゲートを全閉し、糠田排水機場のポンプ運転による内水排除も実施しました。

水 門：（行田市）^{さ ま}佐間水門（^{おしかわ}忍川）、（^{かわづら}鴻巣市）川面水門（元荒川）

放 流 口：（行田市）^{ながのおとし}長野落放流口、^{はちごう}8 号放流口、^{きゆうおしかわ}旧忍川放流口、^{つつみね}堤根放流口
（^{かわづら}鴻巣市）^{あかみだい}川面放流口、^{あかみだい}赤見台放流口

排水機場：（^{ぬかた}鴻巣市）糠田排水機場

今回の内水排除で排水した量は、8 月 29 日(木)22 時から 30 日(金)14 時までで累計約 160.5 万 m³、東京ドーム（124 万 m³）約 1.3 杯分の量に相当します。

3. 佐間水門及び川面水門における内水排除の効果

忍川の佐間水門地点において、30 日(金)1 時 40 分時点のピーク水位 A. P. +18.32m に対して、佐間水門により出水を取り込まなかった場合の水位は A. P. +19.39m になると考えられ、約 1.07m の水位低減効果があったものと推定されます。

元荒川の川面水門地点において、30 日(金)2 時 20 分時点のピーク水位 A. P. +16.93m に対して、川面水門により出水を取り込まなかった場合の水位は A. P. +17.26m になると考えられ、約 0.33m の水位低減効果があったものと推定されます。

※A. P. は荒川工事基準面

4. これまでの内水排除実績

武蔵水路改築事業(平成 27 年度完成)以降に実施した内水排除は、通算 33 回目になります。

平成 28 年度実績：内水排除 6 回

令和 5 年度実績：内水排除 2 回

平成 29 年度実績：内水排除 3 回

令和 6 年度実績：内水排除 1 回（9 月 5 日現在）

平成 30 年度実績：内水排除 3 回

令和 元年度実績：内水排除 5 回

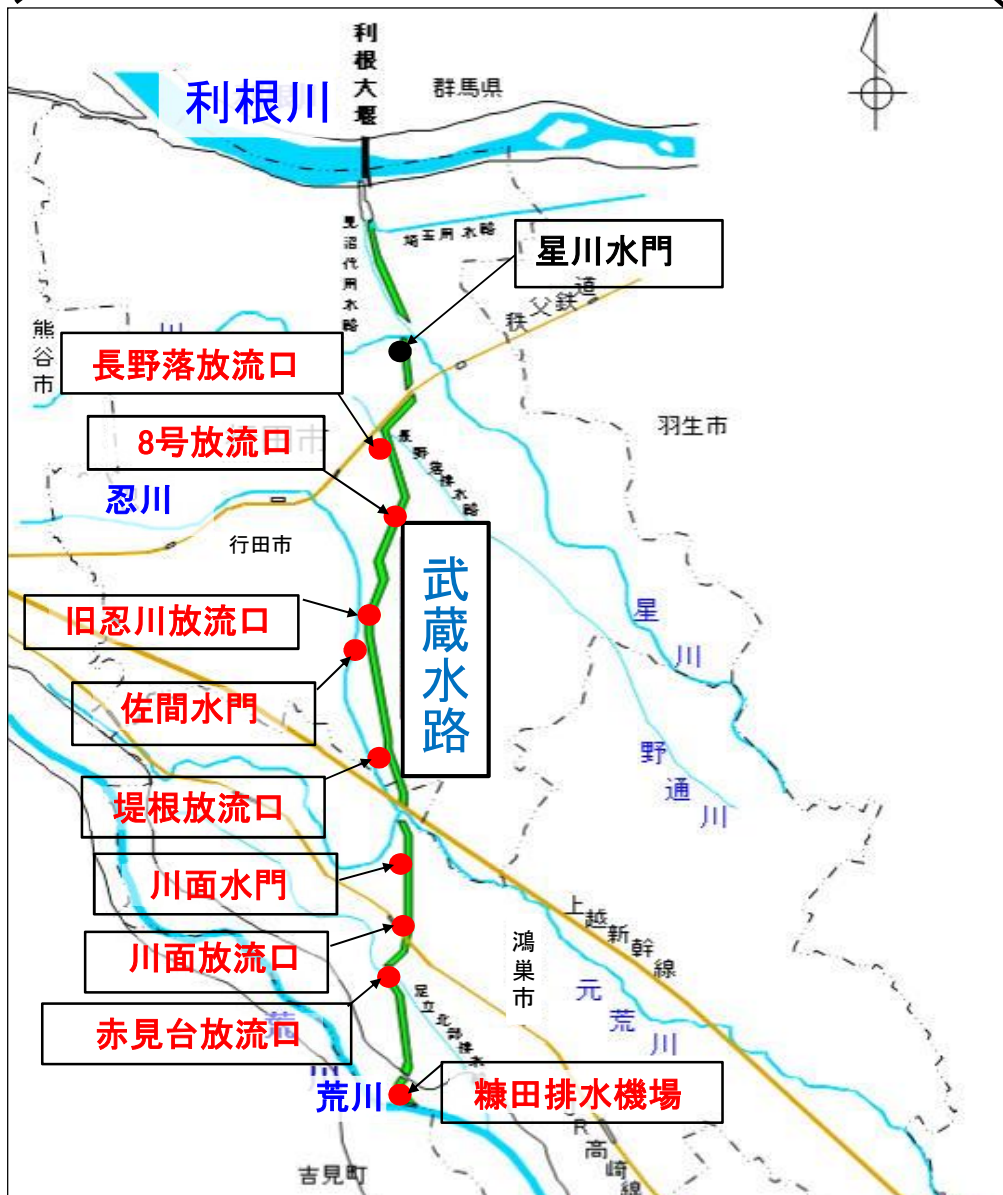
令和 2 年度実績：内水排除 5 回

令和 3 年度実績：内水排除 3 回

令和 4 年度実績：内水排除 5 回

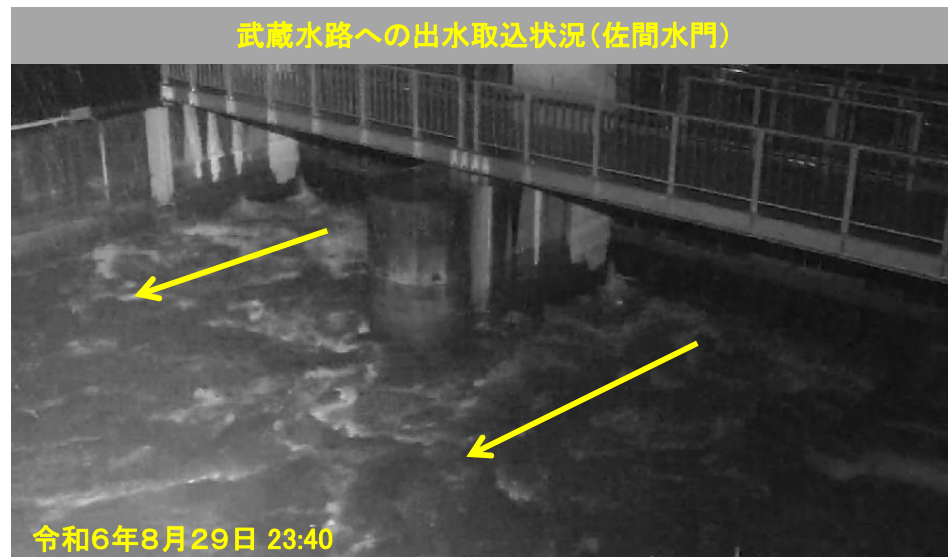
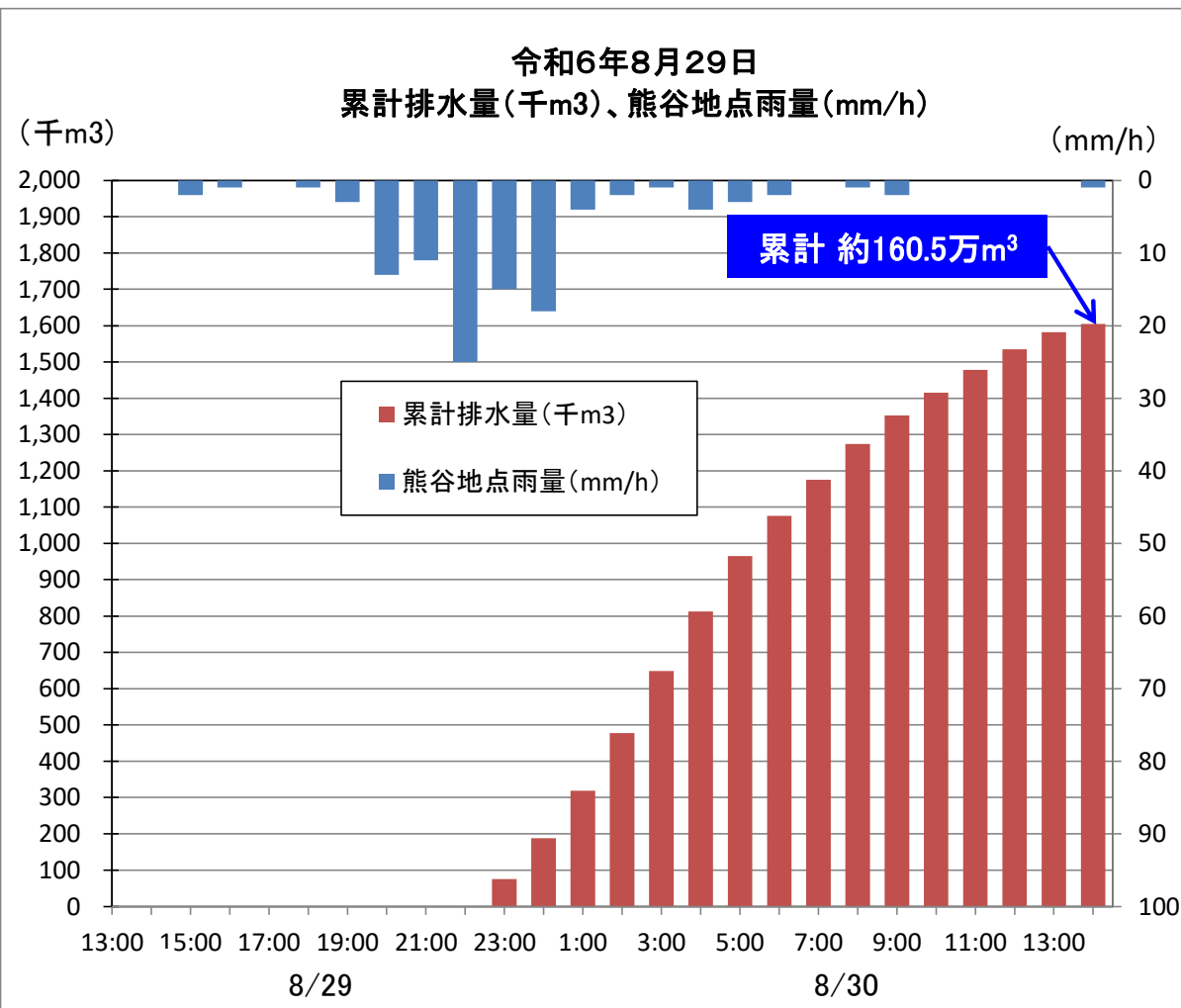
※改築事業以降の最大排水量：約 537 万 m³（平成 29 年 10 月 22 日～24 日）

武蔵水路位置図



武蔵水路 水門・放流口等位置図
(赤字の施設は内水排除操作を行った施設)

令和6年8月29～30日 台風10号の影響による降雨に伴う武蔵水路内水排除速報



佐間水門最大取込時 令和6年8月30日 1:40

佐間水門で出水を取り込まなかった場合、
水位は約A.P.19.39mになると考えられます。

約1.07mの低減

佐間水門地点水位:A.P.18.32m

佐間水門の出水取込みによる忍川の水位低減効果※1

- ・ 8箇所の水門・放流口により出水を武蔵水路に取り込み、累計約160.5万m³※1を荒川へ排水しました。これは、東京ドーム(124万m³※2)約1.3杯分の量に相当します。
- ・ 佐間水門、川面水門で出水を取り込んだことにより、忍川(佐間水門付近)で約1.07m、元荒川(川面水門付近)で約0.33mの水位低減効果※1があったものと推定されます。

※T.P.(東京湾平均海面)0.0m=A.P.(荒川工事基準面)1.13m

※1 取込み量及び低減値は水資源機構試算 ※2 東京ドームHP(<https://www.tokyo-dome.co.jp/dome/facilities/index.html>)

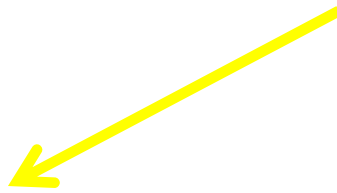
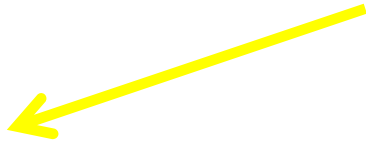
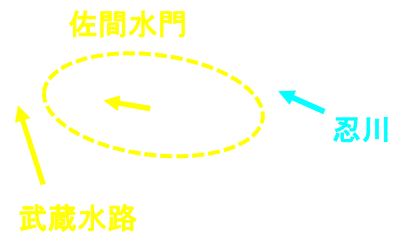
○令和6年8月29日 台風10号の影響による降雨に伴う内水排除状況

佐間水門

出水取り込み状況

(令和6年8月29日 23:40 佐間水門 水路側)

佐間水門及び武蔵水路の外観



川面水門

出水取り込み状況

(令和6年8月29日 22:57 川面水門 水路側)

川面水門及び武蔵水路の外観

